

MR I 検査前チェックシート (提出用)

患者様 氏名 _____

●MR I 検査ができない方

<p>①心臓ペースメーカー・除細動器を装着している方</p> <p>②人工内耳を装着している方</p> <p>③ 神経刺激装置を使用している方</p>

上記①～③に該当する方は、MR I 検査ができません。

●MR I 検査ができるか、確認を要する方 ※ 下記は医師が記入してください

<p>該当する項目の□に ✓チェックを入れてください。 下記項目に該当する場合、検査ができない可能性があります。</p> <p><input type="checkbox"/> 脳動脈瘤クリップ、冠動脈ステントなどを装着している (詳細: _____)</p> <p><input type="checkbox"/> 手術で体内に金属を埋め込んでいる (人工心臓弁、人工関節、ビス、プレートなど) (詳細: _____)</p> <p><input type="checkbox"/> 入れ歯、歯科矯正具、インプラントをしている</p> <p><input type="checkbox"/> 義肢や義足、義眼をしている</p> <p><input type="checkbox"/> 金属片による負傷の経験があり、体内に金属片が残っている可能性がある (詳細: _____)</p> <p><input type="checkbox"/> 刺青、アートメイクをしている</p> <p><input type="checkbox"/> 妊娠している、またはその可能性がある</p> <p><input type="checkbox"/> 閉所恐怖症である</p>

検査当日の注意事項 (患者様用)

患者氏名： _____

※紹介元の御施設様にお願い致します。該当する検査・指示項目に☑を付けて患者様へお渡してください。

<予定されている検査>

- 単純CT 造影CT 単純MRI 造影MRI MRCP

<来院時の準備など>

CT (全員対象)

当日は紹介状を含む提出書類一式を忘れずにご持参ください。

ペースメーカー、植込み型除細動器 (ICD) を装着されている方は、ペースメーカー手帳、ICD手帳も忘れずにご持参ください。

検査着に着替えて頂くことが有ります。また、ヘアピンやアクセサリ、カイロ等は外していただくことが有ります。

MRI (全員対象)

当日は紹介状を含む提出書類一式を忘れずにご持参ください。

検査時は検査着に着替え、ヘアピンやアクセサリ、シップなどは外していただきます。なお濃い化粧なども取っていただくことがありますので、なるべく軽めにしておいてください。

また、入れ歯や補聴器も外していただきます。

造影CT・造影MRIを予定されている方への追加事項

検査の説明時に渡された造影検査に関する説明・問診・同意書の一式 (4頁) を持参してください。

<来院時間>

- 単純検査 (単純CT、単純MRI、MRCP) を受けられる方は、開始時間の **30分前までに来院** してください。
- 造影検査 (造影CT、造影MRI) を受けられる方は、開始時間の **1時間前までに来院** してください。
- その他の指示がある方 ()

<当日の食事、飲水>

- 食事、飲水の制限は、特にありません。(腹部領域の検査とMRCPを除く、すべての単純検査)

- 検査前3時間以上の絶食をお願いします。水、白湯の飲水は可能です。
(すべての造影検査と腹部領域の単純検査)

- 検査前6時間以上の絶食、**3時間以上の絶飲水**をお願いします。(MRCPのみ)

絶飲食では、食べ物・飲み物全てが口に出来ません。MRCPという検査では胃の中身や尿が作られる様子も写るので検査の邪魔になります。また食後すぐは胆嚢が縮んでしまうため、膨らむまで時間が必要です。長時間の絶飲食は非常にきついことですがご理解とご協力をお願い致します。

<当日の内服薬>

- 通常通り服用してください。

- 服用を止めるお薬が有ります。止めるお薬 ()

- ビグアナイド系の糖尿病薬は、検査2日前から服用を止めてください。(造影CTの場合のみ)
止めるお薬 ()

連絡先： 医療法人社団高邦会 高木病院 0944-87-0001 (代表)

説明資料抜粋 (紹介元医療機関様用)

< 検査当日の食事・水分制限について >

検査種類	腹部～骨盤領域の 単純CT・MRI	すべての造影CT・MRI	MRCP (胆のう・膵臓)	その他の単純CT・MRI
食事	3時間前より絶食	3時間前より絶食	6時間前より絶食	制限なし
水分	3時間前より 水・白湯のみ可	3時間前より 水・白湯のみ可	3時間前より絶飲	制限なし
理由	胆のう収縮や腸管蠕動が 診断の支障になるため	副作用で嘔吐した時 に窒息を防ぐため	胆のう収縮や、腸管・ 尿路内の液体が診断の 支障になるため	

< 検査当日の食事・水分制限について >

- 造影CTの場合
 - ・ ビグアノイド系糖尿病薬
 - ・ 腎毒性のある薬剤
 これらの薬は服用を止めてください
- 上記以外すべての検査
 - ・ 通常通り服用してください。

< 造影剤禁忌早見表 >

		造影CT	造影MRI	対 応
喘息歴・造影剤アレルギー		×	×	→代替検査の検討 ①アナフィラキシー・ショックの危険
重篤な甲状腺疾患 (コントロール不良の機能亢進状態)		×	○	→代替検査の検討 (CT) ②甲状腺中毒症の危険
腎機能障害	eGFR(ml/分/1.73m ²) 45以上	○	○	→解毒性のある併用薬剤：一時中止 ※状態不良の患者様の場合は、 検査前後に輸液を考慮することがあります
	eGFR(ml/分/1.73m ²) 45>～≧30	△	△	
	eGFR(ml/分/1.73m ²) 30未満	×	×	③造影剤腎症の危険 ④腎性全身性線維症の危険 ⑤残腎機能の悪化
	透析中	○ (～△)	×	⑤
ビグアノイド系糖尿病薬		△	○	→検査時～検査後48時間の休薬 (CT) ⑥乳酸アシドーシスの危険

上記のほかに、造影CTができない疾患：褐色細胞腫、テタニー、重症筋無力症